



# 天童東ロータリークラブ

奉仕の理念と楽しみを繋げる組織を創ろう

RI第2800地区 第3ブロック・認定加齢日 1985年4月11日  
承認番号Na1653 例会日・毎週水曜日12:30~13:30 例会場・天童ホテル



会長 武山 茂  
職業 化粧品販売

2012-2013年度地区目標  
ロータリーの理念を思い起こそう  
奉仕の心を広げる為に

会長 武山 茂 幹事 土屋政浩 クラブ会報委員長 今田治雄

例会日 2012年7月29日 例会場 NDソフトスタジアム 通算1305回 本年度4回

## 本日のプログラム

### 移動例会『モンテディオ山形・試合観戦』

VS 松本山雅FC

市民応援デーでの試合観戦、無料チケットも配布されていることもあってか、11,132人の入場者数だった。

我がクラブのメンバーは、各々水筒やアイスボックスなどに飲み物を用意して、試合観戦を楽しんでいたが、ゲームの方はストレスの溜まる内容だった。

山形新聞HPより抜粋した記事を左に紹介する。

【モンテ】松本戦、かみ合わず 1-1の引き分け  
サッカーJ2は第26節の29日、各地で11試合を行った。モンテディオ山形は天童市のNDソフトスタジアム山形で松本と戦い、1-1で引き分けた。通算成績は13勝5敗8分けで、勝ち点は47。順位は前節の5位から6位となった。

前半は相手FWが裏に飛び出し、決定機を何度もつくられたが、GK清水健太の堅守によりゼロに抑えた。後半は攻勢。同19分、DF石川竜也のパスを受けたFW中島裕希がシュートを決め先手を取ったが、同30分にPKを決められ、追い付かれた。最後まで果敢に仕掛けたが、ゴールを割ることはできなかった。

山形は次節の8月5日、水戸市のケースデンキスタジアム水戸で水戸と戦う。

【評】後半徐々に攻撃のリズムをつかんだが、粘りきれずにドロー。後ろから丁寧に攻撃を組み立て、細かな連係からつないだが、詰めが甘くなり、決定機を演出できず苦戦した。守備はカウンターを受けて浮き立ち、1対1の場面をつられるなど隙を与えた。ただし、好セーブを連発したGK清水の動きが光った。

攻守ともに微妙なずれ 消化不良に終わったゲームを象徴するかのよう、終了の瞬間はとても静かだった。パスが通らない、スペースを埋められない。相手を打ち破る手だてを尽くし切ったか。「この引き分けを一人一人がよく考え、危機感を持っていかなければ」。MF 船山祐二が声を振り絞るように、チームの思いを代弁した。

松本の攻撃は単調だった。カウンターに徹し、苦しい時はFWにボールを当ててから絡めてくる。だが、サイドから割られ、中央でドリブル突破を許すなど1対1の局面を何度も与えた。GK清水健太が再三好セーブでしのいだものの、ボールを長く保持できない時間帯が続いた。

それでも、嫌な流れを断ち切ったかに見えた。後半19分、DF石川竜也のパスを受けたFW中島裕希が、中央からミドルシュートを右足で決め先制。一気に湧いたスタンドは攻勢を期待したが「選手交代やポジション変更などに対応し切れず、フォーメーションが曖昧になっていった」(清水)。イレブンが共通のプランを思い描けていたか。微妙なバランスのずれから松本に隙を突かれ、同30分にPKを献上、追い付かれる結果となってしまった。

<山形新聞ホームページ 県内ニュース・スポーツより>

